

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** SERIES

VersaPro

(Windows® Millennium Edition /
Windows® 98 Second Editionセレクトابل)

活用ガイド 再セットアップ編

再セットアップするには

マニュアルの 主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



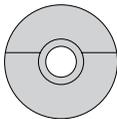
『はじめにお読みください』
このパソコンの接続方法やWindowsのセットアップ手順について説明しています。

- ・型番の確認
- ・添付品の接続
- ・Windowsのセットアップ
- ・マニュアル紹介



『活用ガイド 再セットアップ編』
このパソコンを再セットアップする場合の方法について説明しています。

- ・再セットアップの方法



『アプリケーション CD-ROM/マニュアル CD-ROM』
『活用ガイド ハードウェア編』、『活用ガイド ソフトウェア編』が収録されています。利用方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。

『活用ガイド ハードウェア編』

このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。

- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について

『活用ガイド ソフトウェア編』

アプリケーションの利用方法、追加と削除の方法について説明しています。また、さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。

- ・添付アプリケーションの概要と追加/削除
- ・パソコンのメンテナンスと管理
- ・トラブル解決Q&A



はじめに

このマニュアルは、パソコンを再セットアップする方法について説明しています。

2001年 10月 初版

対象機種 (Windows® Millennium Edition / Windows® 98 Second Editionセレクトابلモデル)

VA12J/DG、VA11J/DF、VA10J/DF、VA86J/DF、VA86J/DX、VA80H/DF、VA80H/DX、VA80H/RX、VA80H/RS、VA85J/RX、VA80J/VH、VA60H/VH

853-810028-217-A

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



チェック!!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明していません。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



用語

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

参照

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

オールインワンノート	VA12J/DG、VA11J/DF、VA10J/DF、VA86J/DF、VA86J/DX、VA80H/DF、VA80H/DX
VersaPro R コンパ外オールインワンノート	VA80H/RX、VA80H/RS、VA85J/RX
モバイルノート(ベイ内蔵型)	VA80J/VH、VA60H/VH
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを内蔵しているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブを内蔵しているモデルのことです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを内蔵しているモデルのことです。
Office XP Personal モデル	購入時にOffice XP Personalがインストールされているモデルのことです。
Office XP Professional モデル	購入時にOffice XP Professionalがインストールされているモデルのことです。
BIOSセットアップメニュー	本文中に記載されているBIOSセットアップメニューは、BIOSセットアップユーティリティを指します。
【 】	【 】 で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	次のいずれかを指します。 ・Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 ・Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Office XP	次のいずれかを指します。 ・Microsoft® Office XP Personal(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0) ・Microsoft® Office XP Professional(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、Microsoft PowerPoint®、Microsoft Access、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)
Office XP Personal	Microsoft® Office XP Personal(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)
Office XP Professional	Microsoft® Office XP Professional(Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook®、Microsoft PowerPoint®、Microsoft Access、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)

このマニュアルで使用している画面

- ・本書に記載の画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリーパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーパック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザー安全基準について

CD-ROMモデル、CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルには、レーザーに関する安全基準(JIS-C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかが内蔵されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えます。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス NEC UltraCareSM International ServiceTM 対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
<http://www.ultracare.nec.co.jp/jpn/>
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft[®] Windows[®] MeまたはMicrosoft[®] Windows[®] 98は本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください。)
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、PowerPoint、BookshelfおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Symantec、Symantecロゴ、pcAnywhereはSymantec Corporationの登録商標です。
© 2001 Symantec Corporation. All Rights Reserved.

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

VersaPro Rコンパクトオールインワン ノートの場合

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1:NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.

VersaPro Rコンパクトオールインワン ノート以外の場合

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。(ただし、海外保証サービス NEC UltraCareSM International Service 対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致します。)

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCareSM International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1:NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.

目次

再セットアップが必要な場合	1
こんなときは再セットアップが必要です	1
再セットアップの種類	1
再セットアップ時の注意	2
再セットアップの準備	3
必要なものをそろえる	3
システムインストールディスク(起動用)のバックアップをとる	4
ハードディスクのデータのバックアップをとる	5
パソコンの使用環境の設定を控える	5
機器の準備をする	5
再セットアップを行う	7
再セットアップ画面を起動する	7
標準再セットアップ	10
操作の流れ	10
システムを再セットアップする	10
カスタム再セットアップ	
~CドライブのみFAT32で再セットアップする	13
操作の流れ	13
システムを再セットアップする	14
カスタム再セットアップ	
~全領域を1パーティションにして再セットアップする	16
操作の流れ	16
システムを再セットアップする	16
カスタム再セットアップ	
~ユーザー設定による再セットアップする	18
操作の流れ	18
現在のハードディスク領域を削除する	19
ハードディスクに新しい領域を作成する	23
領域をフォーマット(ドライブを初期化)する	29
システムを再セットアップする	30
カスタム再セットアップ	
~CドライブのみFAT16で再セットアップする(Windows 98のみ)	32
操作の流れ	32
システムを再セットアップする	33

Office XPの再セットアップ	
(Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデルのみ)	34
Office XPを再セットアップする	34
各種の設定をする	38
機器や設定を元に戻す	38



再セットアップが必要な場合

ハードディスクの構成を変えるときや、パソコンのシステムが壊れてしまったときに、添付の「バックアップCD-ROM」を使ってパソコンのシステムを購入時の状態に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。

こんなときは再セットアップが必要です

- ・ Cドライブ(ハードディスク)の構成を変えたい
- ・ 電源を入れたとき、電源ランプが点灯しているのにWindowsが起動しない
- ・ ハードディスクのプログラムが正常に動作しない
- ・ ハードディスクのシステムファイルを削除してしまった



チェック!!

- ・ 再セットアップを行うと、WindowsやBIOSセットアップメニューなどで設定した内容がすべて初期値に戻ってしまいます(パスワードの設定を除く)。再セットアップを行うときは、本当に必要かどうかよく判断してから行うようにしてください。
- ・ 再セットアップ前にスーパーバイザパスワードやユーザパスワードが設定されていた場合、それらの設定が再セットアップ後も引き続き有効になります。

再セットアップの種類

再セットアップには、次の2種類の方法があります。必要に応じて利用形態にあった方法を選んでください。

標準再セットアップ

ハードディスクを、購入時と同じ状態にする再セットアップ方法です。パソコン初心者の方や、システムを購入時と同じ状態に戻したい方は、この方法を選んでください。

カスタム再セットアップ

カスタム再セットアップには次の方法があります。

- ・ CドライブのみFAT32で再セットアップする
Cドライブの容量を変えずに、CドライブのみをFAT32で再セットアップすることができます。

- ・全領域を1パーティションにして再セットアップする
Cドライブのハードディスクの容量を最大にして再セットアップすることができます。
- ・ユーザー設定による再セットアップする
ハードディスクの領域を自由に変更して再セットアップすることができます。
- ・CドライブのみFAT16で再セットアップする(Windows 98のみ)
Cドライブの容量を変えずに、CドライブのみをFAT16で再セットアップすることができます(オールインワンノートを除く)

再セットアップ時の注意

再セットアップを行うときには必ず次の注意事項を守ってください。

マニュアルに記載されている手順どおりに行う

再セットアップを行うときは、必ずこのマニュアルに記載の手順を守ってください。手順を省略したりすると、正しく再セットアップすることができません。

再セットアップは途中でやめない / 長時間放置しない

再セットアップの作業を途中で中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。

もし途中で作業を中断した場合は、最初から操作をやりなおす必要があります。また、再セットアップ途中にキー操作が必要な画面で長時間放置することはおやめください。

オペレーティングシステムの選択について

本機を再セットアップする場合は、購入時にはじめて電源を入れた時に選択したオペレーティングシステム以外は選択できません。



再セットアップの準備

必要なものをそろえる

再セットアップには最低限次のものが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

以下のものは本機に添付されています。

- ・『はじめにお読みください』
- ・『活用ガイド ハードウェア編』
『活用ガイド ハードウェア編』は、「アプリケーションCD-ROM/ マニュアルCD-ROM」に入っている電子マニュアルです。
- ・「バックアップCD-ROM」
- ・「アプリケーションCD-ROM/ マニュアルCD-ROM」
- ・「システムインストールディスク」フロッピーディスク
モデルによっては、添付されている「システムインストールディスク」の枚数が異なります。添付されているすべての「システムインストールディスク」が必要です。
- ・フロッピーディスクドライブ
USBフロッピーディスクドライブが添付されているモデルをご使用の方は、USBコネクタに接続してください。
フロッピーディスクドライブの接続については、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「フロッピーディスクドライブ」をご覧ください。
MultiBayでフロッピーディスクドライブ以外の機器をお使いの場合は、『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「MultiBay」をご覧ください。
ディスクドライブを接続してください。

以下のものはモデルによって添付の有無が異なります。

- ・「Office XP Personal」CD-ROM(Office XP Personalモデルのみ)
- ・「Office XP Professional」CD-ROM(Office XP Professionalモデルのみ)

- ・ CD-ROMドライブ(またはCD-ROMを使用できるその他のドライブ)

このマニュアルでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。CD-ROMドライブ以外のドライブを使用する方は、「CD-ROMドライブ」をご使用のドライブ名に読み替えてください。

別売のCD-ROMドライブなどをご利用の場合は、ドライブを接続し、そのドライブに添付されているドライバのフロッピーディスクを用意してください。VersaBay IVでCD-ROMドライブ以外の機器をお使いの場合は、『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「VersaBay IV」をご覧ください。CD-ROMドライブを接続してください。

システムインストールディスク(起動用)のバックアップをとる

再セットアップの作業で、「システムインストールディスク(起動用)」を使用するときは、あらかじめ別の1.44Mバイトフォーマットのフロッピーディスクにバックアップをとり、作成した複製(コピー)のほうを使用します。バックアップは、Windowsの「ディスクのコピー」または「MS-DOSプロンプト」の「DISKCOPY」コマンドで行うことができます。

コピーが完了したら、元のディスクは大切に保管しておき、以降の作業では、複製(コピー)のほうを使用してください。

 「ディスクのコピー」の使い方 Windowsのヘルプ

 **チェック!!** 複製(コピー)した「システムインストールディスク(起動用)」はライトプロテクトをかけずに書き込み可能な状態にしておいてください。

用語 バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダを誤って消してしまった場合やハードディスクの故障など、万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製(コピー)を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なデータのバックアップが有効です。

ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行うと、ハードディスク内に保存しておいたデータやアプリケーションはすべて消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、必ず他のフロッピーディスクや外付けハードディスクなどにデータのバックアップをとってから再セットアップしてください。

パソコンの使用環境の設定を控える

再セットアップを行うと、インターネットやBIOSセットアップメニューなどの設定は初期値に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

控えておくもの

- ・インターネットのID
- ・インターネットのアドレス
- ・BIOSセットアップメニューの設定
- ・アクセスポイントの電話番号

など

機器の準備をする

次の準備を行ってください。

- ・BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻す
- ・本機の電源を切る
- ・CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外す
- ・ACアダプタを接続する

BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻す

次の手順でBIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻してください。

BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻しても、スーパーバイザパスワードやユーザパスワードは解除されません。

- 1 「NEC」のロゴが表示されたらすぐ、1秒おきに【F2】を数回押す
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
表示されない場合は、いったん電源を入れなおし、【F2】を押す間隔を変えてください。

2 【F9】を押す
「セットアップ確認 (Setup Confirmation)」が表示されます。

3 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押す
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

4 【F10】を押す
「セットアップ確認 (Setup Confirmation)」が表示されます。

5 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押す
これでBIOSセットアップメニューの設定が初期値に戻りました。

本機の電源を切る

スタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)になっている場合には一度データを保存し、電源を切ってください。

CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外す

再セットアップに必要なCD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外して、『はじめにお読みください』をご覧ください。購入時と同じ状態にしてください。

ACアダプタを接続する

バッテリー駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

これで再セットアップの準備がすべて整いました。

「再セットアップを行う」(p.7)に進んでください。



再セットアップを行う

再セットアップの作業は、まず再セットアップ画面を起動し、そこから各再セットアップを選択して行います。

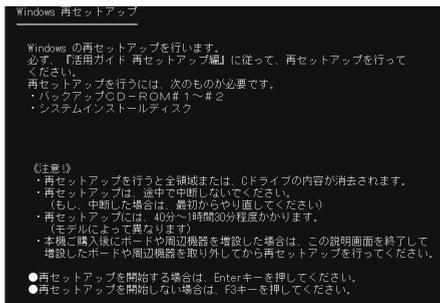
ここでは再セットアップ画面の起動方法について説明します。

再セットアップ画面を起動する

- 1** フロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブが内蔵されていないモデルをお使いの場合はフロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブを取り付ける
- 2** 本機の電源を入れる
- 3** 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットして、「バックアップCD-ROM #1」をCD-ROMドライブにセットする

-  **チェック!!**
- ・CD-ROMドライブを選択する画面が表示された場合は、ご使用のCD-ROMドライブを選択してください。
 - ・「Insert diskette for drive B: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(PCカードサポートソフトウェア)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。
 - ・「Insert diskette for drive A: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。
 - ・お使いのCD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。
 - ・CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。

次の画面が表示されます。

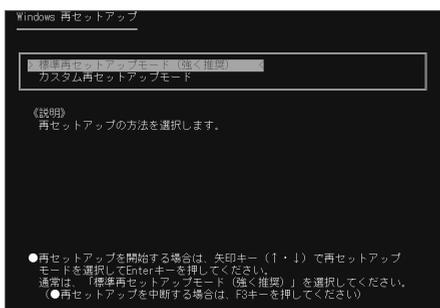


チェック!! 「システムインストールディスク (起動用)」と「バックアップCD-ROM」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクやCD-ROMを取り出し、電源を切ってもう一度手順2からやりなおしてください。

再セットアップにかかる時間や、フロッピーディスクおよびCD-ROMの枚数はモデルによって異なります。実際の画面で確認してください。

4 【Enter】を押す

次の画面が表示されます。



これ以降は、再セットアップの方法によって手順が異なります。

標準再セットアップ 「標準再セットアップ」へ(p.10)

カスタム再セットアップ

CドライブのみFAT32で再セットアップする場合

「カスタム再セットアップ ~CドライブのみFAT32で再セットアップする」
(p.13)

・全領域を1パーティションにして再セットアップする場合

「カスタム再セットアップ ~全領域を1パーティションにして再セットアップする」(p.16)

・ユーザー設定による再セットアップする場合

「カスタム再セットアップ ~ユーザー設定による再セットアップする」
(p.18)

・CドライブのみFAT16で再セットアップする場合

(Windows 98のVersaPro Rコンパクトオールインワン ノート、モバイルノート(ベイ内蔵型)のみ)

「カスタム再セットアップ ~CドライブのみFAT16で再セットアップする
(Windows 98のみ)」(p.32)

標準再セットアップ

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1. システムを再セットアップする(p.10)
2. Windowsの設定をする
『はじめにお読みください』の「オペレーティングシステム(OS)を選択する」
3. アプリケーションを再セットアップする
 - ・ Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデルの場合
「Office XPの再セットアップ」(p.34)
4. 各種の設定をする(p.38)

システムを再セットアップする

-  **チェック!** ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを操作したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回警告音が鳴る場合がありますが、問題ありません。

- 1** 「再セットアップ画面を起動する」の手順(p.7)を行い、再セットアップ画面を起動する
- 2** 再セットアップ画面で、「標準再セットアップモード(強く推奨)」が選択されていることを確認して【Enter】を押す
「標準再セットアップモード(強く推奨)」が選択されていないときは、【】を押して選択してから【Enter】を押してください。
「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。
- 3** 【】を押して「はい」を選択し、【Enter】を押す
ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。

- ✓チェック!!** 途中で「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を入れ替えるメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって入れ替えてください。

4 「セットアップの準備を続けるために、本機を再起動します。Enterキーを押してください。」と表示された場合は、【Enter】を押すシステムが再起動します。このとき、フロッピーディスクやCD-ROMは取り出さないでください。

- ✓チェック!!**
- 途中で「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を入れ替えるメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって入れ替えてください。
 - CD-ROMドライブを選択する画面が表示された場合は、ご使用のCD-ROMドライブを選択してください。
 - 「Insert diskette for drive B: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(PCカードサポートソフトウェア)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。
 - 「Insert diskette for drive A: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。
 - お使いのCD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。
 - CD-ROMドライブが接続されていないことを示す、メッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。

5 フロッピーディスクやCD-ROMをドライブから取り出すよう要求されたら、フロッピーディスクやCD-ROMをドライブから取り出す

- ✓チェック!!** このメッセージが表示されない場合は、再セットアップが正常に行われていません。はじめからやりなおしてください。

6 USB CD-ROMドライブやUSBフロッピーディスクドライブをお使いの場合は、ここでUSB CD-ROMドライブやUSBフロッピーディスクドライブをUSBコネクタから取り外す

* 本機では、Symantec Ghostを使用しています。Symantec Ghostにつきましては、添付のシステムインストールディスクの¥GHOST.TXTをご覧ください。

-  **チェック!!** PCカード経由でCD-ROMドライブをお使いの場合は、いったん電源を切り、外付けのCD-ROMドライブを取り外し、PCカードスロットからPCカードを抜いてから電源を入れなおしてください。続けて「Windowsの設定をする」に進んでください。

7 【Enter】を押す

本機が再起動します。

標準再セットアップを選択された場合は、続けて「Windowsの設定をする」に進んでください。

Windowsの設定をする

購入時にWindows 98を選択した場合

『はじめにお読みください』の「オペレーティングシステム(OS)を選択する」からの手順にしたがってWindows 98を選択し、続けてWindows 98の設定を行ってください

購入時にWindows Meを選択をした場合

『はじめにお読みください』の「オペレーティングシステム(OS)を選択する」からの手順にしたがってWindows Meを選択し、続けてWindows Meの設定を行ってください

このあとの手順はご使用のモデルにより異なります。

- ・Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデル
「Office XPの再セットアップ」(p.34)へ

- ・上記以外のモデル

これで再セットアップは終了です。「各種の設定をする」(p.38)へ進んでください。



カスタム再セットアップ

～CドライブのみFAT32で再セットアップする

Cドライブの容量を変えずに、CドライブのみをFAT32で再セットアップすることができます。

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1. システムを再セットアップする(p.14)
2. Windowsの設定をする
 - ・ Windows Meの場合
『はじめにお読みください』の「Windows Meのセットアップ」
 - ・ Windows 98の場合
『はじめにお読みください』の「Windows 98のセットアップ」
3. アプリケーションを再セットアップする
 - ・ Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデルの場合
「Office XPの再セットアップ」(p.34)
4. 各種の設定をする(p.38)

 **チェック!!** Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。アプリケーションがうまく動作しなくなった場合には、再セットアップ後にアプリケーションを再インストールしてください。

システムを再セットアップする

- 1 「再セットアップ画面を起動する」の手順(p.7)を行い、再セットアップ画面を起動する
- 2 再セットアップ画面で、【 】を押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す
「ご購入時に選択したオペレーティングシステムを選択してください。」と表示されます。
- 3 【 】を押して購入時に選択したオペレーティングシステムを選択する
 - ・ Windows Meの場合
「Windows Millennium Edition」
 - ・ Windows 98の場合
「Windows 98 Second Edition」
- 4 【Enter】を押す
- 5 「CドライブのみFAT32で再セットアップ」が選択されていることを確認して【Enter】を押す
「CドライブのみFAT32で再セットアップ」が選択されていないときは【 】を押して選択してから【Enter】を押してください。
確認メッセージが表示されます。

これ以降は、「標準再セットアップ」の手順3～7(p.10)の作業を行ってください。このあと、続けて「Windowsの設定をする」に進んでください。

Windowsの設定をする

購入時にWindows Meを選択した場合

『はじめにお読みください』の「Windows Meのセットアップ」からの手順にしたがって、Windows Meの設定を行ってください

購入時にWindows 98を選択をした場合

『はじめにお読みください』の「Windows 98のセットアップ」からの手順にしたがって、Windows 98の設定を行ってください

このあとの手順はご使用のモデルにより異なります。

- ・Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデル
「Office XPの再セットアップ」(p.34)へ
- ・上記以外のモデル
これで再セットアップは終了です。「各種の設定をする」(p.38)へ進んでください。



カスタム再セットアップ

～全領域を1パーティションにして再セットアップする

ハードディスクの全領域を1つのパーティションにして、再セットアップすることができます。

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1. システムを再セットアップする(p.16)
2. Windowsの設定をする
 - ・ Windows Meの場合
『はじめにお読みください』の「Windows Meのセットアップ」
 - ・ Windows 98の場合
『はじめにお読みください』の「Windows 98のセットアップ」
3. アプリケーションを再セットアップする
 - ・ Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデル
「Office XPの再セットアップ」(p.34)
4. 各種の設定をする(p.38)

システムを再セットアップする

- 1 「再セットアップ画面を起動する」の手順(p.7)を行い、再セットアップ画面を起動する
- 2 再セットアップ画面で、【 】を押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す
「ご購入時に選択したオペレーティングシステムを選択してください。」と表示されます。

3 【 】を押して購入時に選択したオペレーティングシステムを選択する

- ・ Windows Meの場合
「Windows Millennium Edition」
- ・ Windows 98の場合
「Windows 98 Second Edition」

4 【Enter】を押す

5 【 】を押して「全領域を1パーティションにして再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す 確認メッセージが表示されます。

これ以降は、「標準再セットアップ」の手順3～7（ p.10 ）の作業を行ってください。このあと、続けて「 Windowsの設定をする」に進んでください。

Windowsの設定をする

購入時にWindows Meを選択した場合

『はじめにお読みください』の「Windows Meのセットアップ」からの手順にしたがって、Windows Meの設定を行ってください。

購入時にWindows 98を選択をした場合

『はじめにお読みください』の「Windows 98のセットアップ」からの手順にしたがって、Windows 98の設定を行ってください。

このあとの手順はご使用のモデルにより異なります。

- ・ Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデル
「Office XPの再セットアップ」(p.34)へ
- ・ 上記以外のモデル
これで再セットアップは終了です。「各種の設定をする」(p.38)へ進んでください。



カスタム再セットアップ

～ユーザー設定による再セットアップする

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップすることができます。

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1. 現在のハードディスク領域を削除する(p.19)
 - ・論理MS-DOSドライブを削除する
 - ・拡張MS-DOS領域を削除する
 - ・基本MS-DOS領域を削除する
2. ハードディスクに新しい領域を作成する(p.23)
 - ・基本MS-DOS領域を作成する
 - ・拡張MS-DOS領域を作成する
 - ・論理MS-DOSドライブを作成する
3. 領域をフォーマット(ドライブを初期化)する(p.29)
4. システムを再セットアップする(p.30)
5. Windowsの設定をする
 - ・Windows Meの場合
『はじめにお読みください』の「Windows Meのセットアップ」
 - ・Windows 98の場合
『はじめにお読みください』の「Windows 98のセットアップ」
6. アプリケーションを再セットアップする
 - ・Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデル
「Office XPの再セットアップ」(p.34)
7. 各種の設定をする(p.38)

現在のハードディスク領域を削除する

チェック!! 領域を削除するときは、「論理MS-DOSドライブ 拡張MS-DOS領域 基本MS-DOS領域」の順に削除してください。

用語 MS-DOS領域

Windowsが使用する領域のことを「MS-DOS領域」といいます。

用語 基本MS-DOS領域

システムを起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindowsをインストールします。基本MS-DOS領域は1つのハードディスクにつき1つしか作成できません。

用語 拡張MS-DOS領域

基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここからシステムを起動することはできません。拡張MS-DOS領域は1つのハードディスクにつき1つしか作成できません。拡張MS-DOS領域の中に論理MS-DOSドライブを割り当てることでDドライブ以降として領域を割り当てることができます。

用語 論理MS-DOSドライブ

拡張MS-DOS領域の中に作成します。論理MS-DOSドライブは複数作成することができます。ここでDドライブ以降を作成します。

- 1 「再セットアップ画面を起動する」の手順（ p.7）を行い、再セットアップ画面を起動する
- 2 再セットアップ画面で、【 】を押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す
「ご購入時に選択したオペレーティングシステムを選択してください。」と表示されます。
- 3 【 】を押して購入時に選択したオペレーティングシステムを選択する
 - ・ Windows Meの場合
「Windows Millennium Edition」
 - ・ Windows 98の場合
「Windows 98 Second Edition」

4 【Enter】を押す

5 【 】を押して「ユーザー設定による再セットアップ」を選択し、
【Enter】を押す
メニュー画面が表示されます。

6 「領域の削除/作成」が選択されているのを確認して【Enter】を押す
「fdiskコマンドを実行して領域を設定します。」と表示されます。

7 【 】を押して「はい」を選択し、【Enter】を押す
「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)」と表示され
ます。

8 「Y」になっていることを確認して、【Enter】を押す
FAT32に設定されます。
FAT16にしたい場合は【N】を押してから【Enter】を押してください。
「FDISKオプション」画面が表示されます。

 **チェック!!** 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「ハードディスク または「内蔵ハードディスク」の「FAT32ファイルシステムの利用」をご覧ください。内容をよく確認しておいてください。

ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないときは、「基本MS-DOS領域を削除する」(p.22)へ進んでください。
論理MS-DOSドライブおよび拡張MS-DOS領域があるときは、次の「論理MS-DOSドライブを削除する」へ進んでください。

論理MS-DOSドライブを削除する

1 「FDISKオプション」画面で、【3】領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】を押す

2 【3】拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
ドライブ一覧とともに、「どのドライブを削除しますか」と表示されます。

- 3 削除するドライブを選び(Dドライブの場合は【D】を押す) 【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 4 ボリュームラベルの入力が必要なときは、入力して【Enter】を押す
入力する必要がないとき(削除する領域にボリュームラベルがつけられていないとき)は、そのまま【Enter】を押す
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 5 【Y】を押して【Enter】を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました」と表示されます。
- 6 残りのドライブがある場合は、同様に3~5の手順ですべて削除する
すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブはすべて削除されました」と表示されます。
- 7 【Esc】を押す
「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました」と表示されます。
- 8 【Esc】を押す
「FDISKオプション」画面が表示されます。

次に拡張MS-DOS領域を削除します。

拡張MS-DOS領域を削除する

- 1 「FDISKオプション」画面で、【3】領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 2 【2】拡張MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter】を押す
「注意!削除した拡張MS-DOS領域のデータはなくなります。続けますか(Y/N)」と表示されます。
- 3 【Y】を押して【Enter】を押す
「拡張MS-DOS領域を削除しました」と表示されます。

4 【Esc】を押す

「FDISKオプション」画面が表示されます。

基本MS-DOS領域を削除する

1 「FDISKオプション」画面で、【3】領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】を押す

2 【1】基本MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter】を押す
現在のハードディスクの状態とともに、「注意!削除した基本MS-DOS領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されます。

3 【1】を押して、【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

4 ボリュームラベルの入力が必要なときは、入力して【Enter】を押す
入力する必要がないとき(削除する領域にボリュームラベルがつけられていないとき)は、そのまま【Enter】を押す
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。

5 【Y】を押して【Enter】を押す
「基本MS-DOS領域を削除しました」と表示されます。

6 【Esc】を押す
「FDISKオプション」画面が表示されます。

次の「ハードディスクに新しい領域を作成する」に進んでください。

ハードディスクに新しい領域を作成する

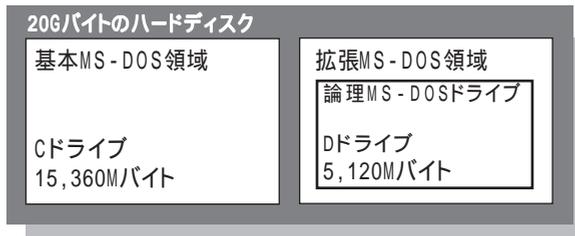
- チェック!!** 領域を作成するときは、「基本MS-DOS領域 拡張MS-DOS領域 論理MS-DOSドライブ」の順に作成してください。

本機では、次のようにして削除した領域の容量を合計した範囲のなかで、新しい領域を分けます。

例：ハードディスクの容量が20Gバイトある場合

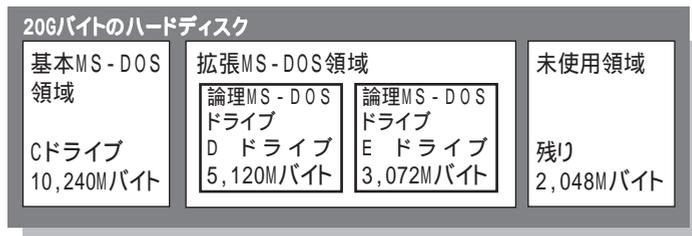
領域の分け方の例(1)

基本MS-DOS領域を15,360Mバイト(15Gバイト)にして、残りの拡張MS-DOS領域をすべて論理MS-DOSドライブにする。



領域の分け方の例(2)

20Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を10,240Mバイト(10Gバイト)にして、残りの拡張MS-DOS領域を5,120Mバイト(5Gバイト)、3,072Mバイト(3Gバイト)の論理MS-DOSドライブにする。



- チェック!!** 確保される領域が、入力した領域のサイズより大きくなる場合があります。FAT16で領域確保するときに、「2,047Mバイト」と入力すると、実際に領域確保されるサイズが「2,052Mバイト」などの値になり、FAT16では領域確保できない場合があります。その場合には、2,045Mバイトなど2,047Mバイトより小さい値を入力してください。

基本MS-DOS領域を作成する

- チェック!!** カスタム再セットアップでは、基本MS-DOS領域(Cドライブ)にWindowsのシステムやアプリケーションがインストールされます。領域のサイズを指定して作成するときには、次の容量より大きくしてください。

2,000Mバイト+ 本機に搭載されているメモリ容量

基本MS-DOS領域を最大に割り当てるかどうかで作成手順が違います。それぞれ該当する部分をお読みください。

- ・最大に割り当てる場合 次の「基本MS-DOS領域を最大に割り当てる」
- ・最大に割り当てないでサイズを指定する 「基本MS-DOS領域を、サイズを指定して割り当てる (p.25)」

基本MS-DOS領域を最大に割り当てる

- 1 「FDISKオプション」画面で、【1】MS-DOS領域または論理 MS-DOS ドライブを作成)を押して、【Enter】を押す
「どれか選んでください」と表示されます。
- 2 【1】基本MS-DOS領域を作成)を押して、【Enter】を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると、「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします (Y/N))」と表示されます。
- 3 「Y」になっていることを確認して、【Enter】を押す
ドライブのチェックが始まります。
「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」と表示されます。
- 4 【Esc】を押す

- 5 「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示された場合は、【**Y**】を1回押して「いいえ」を選んで【Enter】を押す
- 6 「領域を有効にするためにシステムを再起動します」と表示された場合は、【Enter】を押す
本機が再起動します。

これで基本MS-DOS領域の作成が完了しました。
p.29の「領域をフォーマット(ドライブを初期化)する」に進んでください。

基本MS-DOS領域を、サイズを指定して割り当てる

- 1 「FDISKオプション」画面で【**1**】MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)を押して、【Enter】を押す
「どれか選んでください」と表示されます。
- 2 【**1**】基本MS-DOS領域を作成)を押して、【Enter】を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると、基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします) (Y/N)と表示されます。
- 3 【**N**】を押して、【Enter】を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合で(%)入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されます。
- 4 必要な空き容量(p.24のチェック欄)以上の数値を入力する
- 5 【Enter】を押す
「基本MS-DOS領域を作成しました」と表示されます。
- 6 【Esc】を押す
「FDISKオプション」画面が表示されます。

7 【2】アクティブな領域を設定)を押し、【Enter】を押す
「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されます。

8 【1】を押して、【Enter】を押す
「領域1がアクティブになりました」と表示されます。

9 【Esc】を押す
「FDISKオプション」画面が表示されます。

次に拡張MS-DOS領域を作成します。

拡張MS-DOS領域を作成する

1 【1】MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)を押して、【Enter】を押す

2 【2】拡張MS-DOS領域を作成)を押して、【Enter】を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合で(%)入力してください。拡張 MS-DOS 領域を作ります」と表示されます。

3 最大サイズが表示されていることを確認して、【Enter】を押す
「拡張MS-DOS領域を作成しました」と表示されます。

4 【Esc】を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。

次に論理MS-DOSドライブを割り当てます。

論理MS-DOSドライブを割り当てる

✓チェック!! 実際に領域確保されるサイズが、入力した値よりも数Mバイト大きく表示される場合があります。

1 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てないときは、数字を入力して【Enter】を押す
そのままの状態でも【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。

2 割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、続けて「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されるので、最大サイズで割り当てないときは、数値を入力して【Enter】を押す
そのままの状態でも【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。

512Mバイト以上の領域を作成すると、その領域にはFAT32が適用されます。作成した領域が512Mバイトよりも小さいときには自動的にFAT16が適用されます。

3 拡張MS-DOS領域の残りがなくなるまで、手順2を繰り返して、すべての拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに割り当てる
すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。

4 【Esc】を押す
「FDISKオプション」画面が表示されます。

「FDISKオプション」画面の「4.領域情報を表示」で作成した領域を確認することができます。

5 【Esc】を押す
「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示されます。

6 【Esc】を押す

7 「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示された場合は、【 】を1回押して「いいえ」を選んで【Enter】を押す

8 「領域を有効にするためにシステムを再起動します」と表示された場合は【Enter】を押す

 **チェック!!** ここでは「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

本機が自動的に再起動します。

自動的に再起動しない場合は、電源スイッチを操作して電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れます。

機種によって、再セットアップの注意事項を説明する画面が表示されることがあります。内容をよく読んで、【Enter】を押してください。

 **チェック!!** ・CD-ROMドライブを選択する画面が表示された場合は、ご使用のCD-ROMドライブを選択してください。

・「Insert diskette for drive B: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(PCカードサポートソフトウェア)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。

・「Insert diskette for drive A: and press any key when ready」と表示された場合は、添付の「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットし【Enter】を押してください。

・お使いのCD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示された場合はメッセージにしたがってください。

・CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示された場合はメッセージにしたがってください。

Windows 再セットアップの画面が表示されます。

これで領域は作成されました。

次の「領域をフォーマット(ドライブを初期化)する」に進んでください。

領域をフォーマット(ドライブを初期化)する

新しく確保した領域を、次の手順でフォーマット(初期化)します。

- ✓チェック!!**
- ・領域を削除しなかったドライブはフォーマットしないでください。フォーマットすると、ドライブ内のすべてのデータが削除されます。
 - ・「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

1 【**F**】を押して「領域のフォーマット」を選択し、【**Enter**】を押す
「formatコマンドを実行して、fdiskコマンドで作成した領域をフォーマットします。」と表示されます。

2 【**Y**】を押して「はい」を選択し、【**Enter**】を押す
「作成したパーティションをフォーマットしてください。」と表示されます。

3 「format *:」と入力して【**Enter**】を押す
「注意:ドライブ*:のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されます。
*にはフォーマットするドライブ名が入ります。

4 【**Y**】を押して、【**Enter**】を押す
フォーマットが始まります。ドライブのサイズにもよりますが、1Gバイトでおよそ1分前後ほどかかります。
フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。

5 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【**Enter**】を押す
必要がなければ、【**Enter**】だけを押す

ボリュームラベルは、半角文字で11文字まで、全角文字で5文字まで入力できます。

「R: ¥ >」が表示されます。

ボリュームラベル

ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイ コンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。あとからボリュームラベルをつけたり、名前を変更するには、「マイ コンピュータ」画面でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選び、「全般」タブで名前を入力、変更します。

- 6** 新しく領域を確保したドライブはすべて、手順3～5を繰り返して、フォーマットする
- 7** すべての作業が終了したら「MENU」と入力し、【Enter】を押す
Windows 再セットアップの画面が表示されます。

システムを再セットアップする

- 1** 再セットアップの画面でファイルの復元を選択する
領域を作成したファイルシステムにより異なります。
 - ・ FAT32で領域を作成した場合
【】を押して「FAT32でファイルの復元」を選択します。
 - ・ FAT16で領域を作成した場合
【】を押して「FAT16でファイルの復元」を選択します。
- 2** 【Enter】を押す
確認メッセージが表示されます。
- 3** 【】を押して「はい」を選択し、【Enter】を押す
システムの再セットアップがはじまります。

 途中で「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を入れ替えるメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって入れ替えてください。
これ以降は「標準再セットアップ」の手順4～7（p.11）の作業を行ってください。このあと、続けて「Windowsの設定をする」に進んでください。

Windowsの設定をする

購入時にWindows Meを選択した場合

『はじめにお読みください』の「Windows Meのセットアップ」からの手順にしたがって、Windows Meの設定を行ってください。

購入時にWindows 98を選択をした場合

『はじめにお読みください』の「Windows 98のセットアップ」からの手順にしたがって、Windows 98の設定を行ってください。

このあとの手順はご使用のモデルにより異なります。

- ・ Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデル
「Office XPの再セットアップ」(p.34)へ
- ・ 上記以外のモデル
これで再セットアップは終了です。「各種の設定をする」(p.38)へ進んでください。



カスタム再セットアップ

～CドライブのみFAT16で再セットアップする(Windows 98のみ)

この再セットアップは、Windows 98でのみ行えます。

Cドライブの容量を変えずに、CドライブのみをFAT16で再セットアップすることができます(オールインワンノートを除く)。

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1. システムを再セットアップする(p.33)
2. Windowsの設定をする
『はじめにお読みください』の「Windows 98のセットアップ」
3. アプリケーションを再セットアップする
・ Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデル
「Office XPの再セットアップ」(p.34)
4. 各種の設定をする(p.38)

✓チェック!! Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。アプリケーションがうまく動作しなくなった場合には、再セットアップ後にアプリケーションを再インストールしてください。

システムを再セットアップする

- 1** 「再セットアップ画面を起動する」の手順(p.7)を行い、再セットアップ画面を起動する
- 2** 再セットアップ画面で、【 】を押して「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す
「ご購入時に選択したオペレーティングシステムを選択してください」と表示されます。
- 3** 【 】を押して「Windows 98 Second Edition」を選択し、【Enter】を押す
- 4** 「CDドライブのみFAT16で再セットアップ」が選択されていることを確認して【Enter】を押す
「CDドライブにWindows 98 Second Edition(FAT16)を再セットアップします。よろしいですか?」と表示されます。

これ以降は、「標準再セットアップ」の手順3~7(p.10~12)の作業を行ってください。

このあと、『はじめにお読みください』の「Windows 98のセットアップ」の手順にしたがってWindows 98の設定を行ってください。

このあとの手順はご使用のモデルにより異なります。

- ・ Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデル
「Office XPの再セットアップ」(p.34)へ
- ・ 上記以外のモデル
これで再セットアップは終了です。「各種の設定をする」(p.38)へ進んでください。

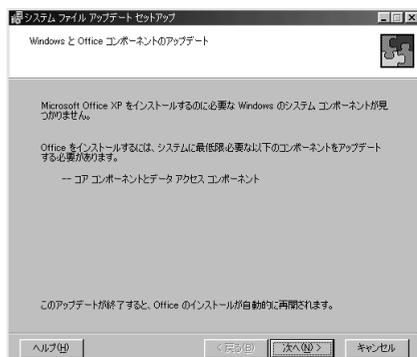
Office XPの再セットアップ

(Office XP Personalモデル / Office XP Professionalモデルのみ)

- ✓チェック!!**
- ・PCカード経由でCD-ROMドライブをお使いの場合は、いったん電源を切りPCカードスロットにPCカードを挿入してから電源を入れなおしてください。
 - ・USB CD-ROMドライブをお使いの場合は、Office XPを再セットアップする前にUSB CD-ROMドライブを使える状態にしておいてください。
 - ・「Office XP」を削除したり本機を再セットアップしたあとに、「Office XP」を再追加した場合、「Office XP」のアプリケーション(WordやExcelなど)を最初に起動すると、「Microsoft Office XP Personal ライセンス認証ウィザード」画面または、「Microsoft Office XP Professional ライセンス認証ウィザード」画面が表示されます。この場合は、「Office XP」に添付のOffice XPのセットアップガイドをご覧になり、ライセンス認証を行ってください。

Office XPを再セットアップする

- 1 「Office XP Personal」CD-ROMまたは「Office XP Professional」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が表示されます。
「ユーザー情報」画面が表示された場合は、手順5に進んでください。



- 2** 「次へ」ボタンをクリックする
「使用許諾契約書」画面が表示されます。
- 3** 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」のをクリックしてにし、「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。
インストールが終了すると、再起動のメッセージが表示されます。
- 4** 「はい」ボタンをクリックする
Windowsが再起動し、自動的にセットアッププログラムが起動します。
- 5** 「ユーザー情報(ユーザー名、頭文字、所属、プロダクト キー)」を入力する
ユーザー名やその他の項目の入力は省略することができます。
なお、プロダクト キー(「Office XP Personal」または「Office XP Professional」のCD-ROMケースの裏側に貼られた黄色のシールに記載されています)を入力すると、Office XP アプリケーションを最初に起動したときのプロダクト キーの入力作業が必要なくなります。



この画面は「Office XP Personal」のものです

- 6** 「次へ」ボタンをクリックする
「使用許諾契約書」画面が表示されます。

7 画面の内容をよく読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」のをクリックしてにし、「次へ」ボタンをクリックするインストールの種類を指定する画面が表示されます。

8 「カスタム」のをクリックしてにし、「次へ」ボタンをクリックするインストールするアプリケーションを指定する画面が表示されます。

9 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」のをクリックしてにし、「次へ」ボタンをクリックする次の画面が表示されます。



この画面は「Office XP Personal」のもので

10  (Microsoft Office) をクリックし、表示されるメニューから「マイ コンピュータからすべて実行」をクリックする
灰色で表示されたアイコンがないことを確認してください。

11 「Microsoft Excel for Windows」-「読み上げ」の  をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると  「読み上げ」が  に変わります。

12 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「音声」の  をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると  「音声」が  に変わります。

- 13** 「Office 共有機能」・「入力システムの拡張」・「IME」・「IME パッドアプレット」・「音声アプレット」の  をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると  (音声アプレット) が  に変わります。
- 14** 「Office ツール」・「高速検索のサポート」の  をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると  (高速検索のサポート) が  に変わります。
- 15** 「次へ」ボタンをクリックする
インストール内容の確認画面が表示されます。
- 16** 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。
インストールが終了すると、再起動のメッセージが表示されます。
- 17** 「はい」ボタンをクリックする
Windowsが再起動します。
- 18** CD-ROMドライブから「Office XP Personal」CD-ROMまたは「Office XP Professional」CD-ROMを取り出す

これで再セットアップは終了です。
p.38の「各種の設定をする」に進んでください。



各種の設定をする

機器や設定を元に戻す

機器を取り付ける

再セットアップ前に取り外した周辺機器を元通りに取り付け、機器の設定を行ってください。

参照▶ 周辺機器を設定する 『活用ガイド ハードウェア編』の「PART2 周辺機器を使う」

パソコンの設定を元に戻す

購入後に設定した内容はすべて購入時の状態に戻っています。インターネットやBIOSセットアップメニューなどのパソコンの設定をやりなおしてください。

再セットアップ前にユーザパスワードやスーパーバイザパスワードが設定されていた場合は、その設定が引き続き有効になっています。新たに設定しなおす必要はありません。

プロバイダに加入している場合、すでに取得しているIDやパスワードをそのまま使うことができます。新たにサインアップをやりなおす必要はありません。

アプリケーションをインストールしなおす

パソコンを購入後にインストールした別売のアプリケーションや、添付の「アプリケーションCD-ROM/ マニュアルCD-ROM」を使ってインストールしたアプリケーションは、再セットアップ後には消去されています。あらためてインストールしなおしてください。



活用ガイド

再セットアップ編

PC98-**NX** SERIES

VersaPro

(Windows® Millennium Edition /
Windows® 98 Second Editionセレクトابل)

初版 2001年10月

NEC

P

853-810028-217-A